

自然教育園見ごろ情報

2026年2月26日号

附属自然教育園

検索

詳しくはHPの「見ごろ情報」
をご覧ください
<https://ins.kahaku.go.jp/>



今週はここに注目!

ユキワライチゲの
花が増えました



アマナ

白い花が咲き始めました。「甘菜（アマナ）」の名前は、地中のまるい鱗茎が食用となり、甘みがあることによります。花は、日が当たると開き、天気が悪いとあまり開きません。



ユキワライチゲ

淡紫色の花が咲いています。葉は、野菜のミツバ（セリ科）によく似ています。名前の「一華（いちげ）」はイチリンソウ(別名イチゲソウ)の仲間であることによります。



ユキワライチゲの葉



アセビ

壺形のかわいらしい花が鈴なりに咲いています。株全体に毒をもっています。漢字で書くと「馬酔木」。ウマが食べると酔ったようになり、苦しむことからこの名がついたといわれます。



カタクリ(葉)

代表的な早春の花「カタクリ」の葉が出ています。雪国に多く、林内に群生する植物です。かつては地下茎から片栗粉が作られました。例年、花は3月中旬から咲きはじめます。開花が楽しみです!

カタクリの花 (3月)



0 50 100m

上を見上げて
みてください



マンサク

黄色い花が咲いています。名前の由来は、数多くの花が咲くときは豊年「満作」となるという説と、春に他の花に先駆けて咲かせるので「まず咲く」がなまったという説があります。



水辺で
みられます

カルガモ

街中の公園でもみられる身近なカモ。池にのんびり浮いていたり、水中に顔をつっこんで餌を探す様子などが見られます。2羽で行動しているのはカップルかもしれませんね。今年も園内の繁殖が期待されます。



フキ(花)

花がたくさん咲いています。ふきのとうは、フキの「花がつく茎(花茎)」にあたり、山菜としてもおなじみ。葉はつくた煮などのほか、咳止めなどの民間薬としても利用されています。



★園内での動植物の採集は禁止です。大切に
見守ってください。



いい香りが
します

モクレイシ(雄花)

緑白色の小さな花をたくさん咲かせています。モクレイシは、ツルレイシ(ニガウリ)に対して付けられた名前。果実が割れ赤いタネを出す様子が、ニガウリが熟したタネを出す様子と似ているためです。雌雄異株です。



果実が割れた様子 (雌株)

天然記念物及び史跡

科博 自然教育園